

第20回宇宙輸送システム部会 議事要旨

1. 日時：平成26年11月14日（金） 10：00－11：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室 大会議室

3. 出席者

（1）委員

山川部会長、白坂部会長代理、緒川委員、松尾委員、御正委員、渡邊委員

（2）事務局

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、森宇宙戦略室参事官、頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

（1）新宇宙基本計画の工程表（素案）について

事務局から参考資料2に基づき、新宇宙基本計画（素案）について説明があった。説明の後、以下のようなやり取りがあった。

○新型基幹ロケットの工程表では、液体燃料ロケットがH-IIAロケットから新型基幹ロケットへ徐々に移行していく姿が見えるようにするべきである。

○再使用型宇宙輸送システムの研究開発については、実利用を見据えると制度の整備が必要となるため、関係府省として経済産業省も加えるべきではないかと委員から指摘があった。これに対し、事務局から、再使用型宇宙輸送システムの研究開発の関係府省は文部科学省であり、一方、実利用を見据えた制度の整備については他の部会で議論が行われており、その項目には関係府省として経済産業省も記載されているとの回答があった。

○再使用型宇宙輸送システムの工程表に、宇宙政策委員会が平成26年4月3日にとりまとめた「宇宙輸送システム長期ビジョン」を記載し、参照可能となるようにするべきである。

○政府衛星を打ち上げる際の基幹ロケットの優先的な使用は、どの程度担保されるものなのかと委員から質問があった。これに対し、事務局から、政府衛星を打ち上げる際には基本的には基幹ロケットを使用することになるが、状況に応じて臨機応変に対応することもあり得るとの回答があった。

本日の議論も踏まえ、新宇宙基本計画の工程表に係る宇宙輸送システム部会の検討結果に関する宇宙政策委員会への報告については部会長に一任し、今後の宇宙政策委員会における取りまとめに反映させるように調整していくこととなった。

以上